

単位会エントリーNo.3

社員、親会、地域を巻き込む健康経営

～4年間の取り組み～

金沢局連 富山法人会／富山県連

公益社団法人 富山法人会

取り組みの歴史



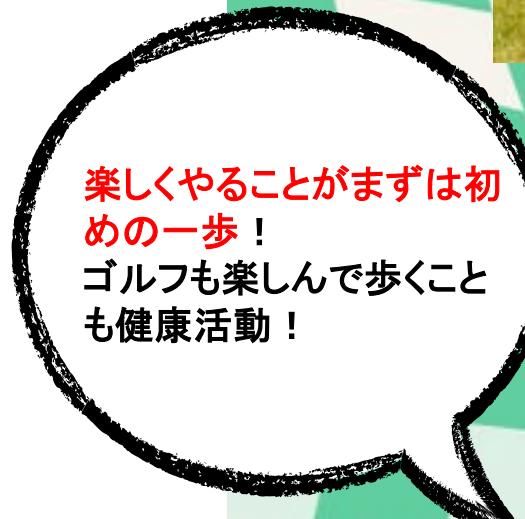
- **2021年**
健康経営事業スタート！
講演会：参加42名
- **2022年**
講演会：5月26名、10月20名
第36回沖縄大会 優秀賞
- **2023年**
講演会：12月：22名、2月：32名
青年部会会員企業従業員も参加！
- **2024年**
講演会：参加42名
青年部会会員企業従業員、親会、親会
従業員、他企業の方も参加！

ゴルフコンペ

全国青年部会対抗ウォーキングラリー



①ゴルフコンペを定期的に開催(年1回)。
全国青年部会対抗ウォーキングラリー参加



フィジカル君

健康チェック



②会員企業作成の健康チェックカードにて、部会員の健康状態を定期的にチェック。

全50問！100点満点で健康状態がわかる！



100点満点で、自分の健康状態を棚卸し！

自分の健康と仲間の健康を見る化しながら楽しくチェック！



フィジカル君

健康経営ゲーム研修会



- ①健康経営に関する講演会を定期的に開催する。
- ②会員企業開発の健康経営ゲームにて部会員のコミュニケーションを図り、健康経営に関する知識と、会員間の交流を活発にする。

エンタメ
＊
会話



健康経営の目的は？

健康経営をゲームで学びながら、会員同士のコミュニケーションを活性化！

メンタルちゃん



宣言書ジェネリックシール



- ①入会と同時に、健康経営宣言書の説明と提出
- ②ジェネリック医薬品の推奨



実効性



啓発継続

ジェネリックシール

200枚
以上配布

実効性のある取り組みと
して青年部会の活動の柱
の1つとして定着。

日本の未来を担う子供た
ちのために！

ソーシャル君

従業員と親会・地域



③2023年以降、
会員企業従業員、親会はもちろん部会員以外の
関係企業にも参加していただく

継続性
全国初！
啓発継続



従業員や親会を巻き込
むことによって、運動を加
速化させたい！

日本の未来を担う子供た
ちのために！

ソーシャル君



参考)2024年度研修会

親会企業:16名 青年部会企業従業員:5名 全法連:1名 石川県連:1名 金沢:2名

法人会健康経営の目的と現状



小杉善文氏
法人会の立場から

金沢法人会にて部会長（当時）
この時点でも国は赤字財政。

青年部会の活動としては租税教室だけだったが、全法連青連協で社会保障費が大きく右肩上がりである状況に対し、税に対してアクションを起こせないか？
税と社会保障を繋げられないか？

健康寿命を増やしても最後の社会保障費は下げられない

→打開策として健康経営推進プロジェクトの立ち上げ

江口充氏
(江口組: 実践済み)
企業の立場(フィジカル課題)

2018年時点でギックリ腰やメタボ、インフルエンザによる休みが冬季多くいた。
ギックリ腰になったら1週間仕事出来なくなることがあった。

→ギックリ腰が7～8名くらいが、健康経営に取り組み後は1～3人あるかないかになった

※KPIは測れないとお話ししていましたが、実際は冬季でのお仕事の稼働率は上がっているので算定可能

長岡伸剛氏
(長岡工業: 実践し始め)
企業の立場
(やっていたことが健康経営だった)

協会健保のスタート：2021年認定
(協会健保から勧められて始めた)
再受診率上げるために、健診オプションも会社負担、産業医の先生、保険の営業からの情報を得る

転機：2020年に社長交代
健康経営という目的からではなく、
経営に得になるような福利厚生的な視点からスタート。

→カンガルー出勤という子供を連れての出勤なども行っており、結果的に取り組んでいることが健康経営にもつながっていた。

取り組み企業の具体的な事例がわかつて参考になった。
カンガルー出勤などは取り入れていきたい。

健康経営は、いい会社をつくること
業績を上げることで、結果として税金を多く納める事が出来るとわかった。

自社でもやってみたい！
参加された方の中から、2社で健康経営セミナー実施！

活動の成果



新聞掲載

法人会青年部会での取り組みを、
地元の北日本新聞社にも取り上げて
いただきました。



地域へ
周知！

宣言書の数

健康経営宣言書提出 **73社**

全体の63%で、取り組み以来、新入会員向けに説明と提出を促し、継続して研修会を実施してきた結果。

※2021年当初は17社のみ

健康経営宣言
73社

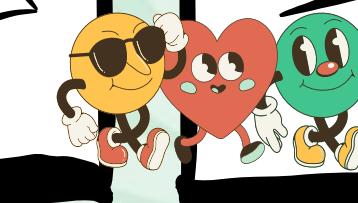
健康経営優良法人

とやま健康企業宣言 **19社**

健康経営優良法人認定 **6社**

親会含めると **50社**

※富山市の認定企業は73社
会員企業での健康経営の推進が加速
している！



健康経営優良法人
50社
富山市の認定企業の
68.5%

部会員への浸透度



参加人数

青年部会会員参加人数

延べ人数**190名**

※内訳:
2021年(42名、2月コロナで中止)
2022年(5月:26名、10月:20名)
2023年(12月:22名、2月:32名)
2024年(48名)

会員数
約2倍

従業員・親会

従業員・親会・他企業

延べ人数**37名**

※内訳:
2023年(青年部会企業従業員7名、他会の青年部会員
2名(魚津・高岡)、高岡事務局1名、富山事務局2名)

2024年(親会企業16名、部会員企業従業員5名、
全法連1名、石川県連1名、金沢2名)

全国初
取り組み

会員外の巻き込み

部会員から提案ありにて実現!

青年部会のみでのクローズな取り組み
に終わらず、従業員や親会にも健康経
営について学んで欲しい!

→企業間の仲間づくりにつながる

公益性
会員外!



財政健全化への貢献度



税収の増加

会員へのアンケート結果から、全ての企業で賃上げ、約7割の会員企業が売上向上しているという内容。

一方で、売上が向上していない企業もあり、昨今の物価上昇や人手不足などの影響も。

全企業
賃上げ

7割
売上増



社会保障給付費の削減

ジェネリックシールの配布数については、200枚以上富山法人会青年部会で配布済み。

また、健康経営を実践する企業は年次医療費が1割減少する傾向があると報告されており、
講演会延べ人数 × 1人当たり医療費 × 1割とする…

※1人あたり医療費を年間373,700円(R4年厚労省)とし、ジェネリック医薬品を使用することで3割軽減されると試算した場合。

ジェネリックで
2,242万円
研修会で
747万円

トータル
3,000万円
削減